

日本農芸化学会2019年度大会 ランチョンセミナーのご案内

LS1-3 島津製作所の 最新分析ソリューションのご紹介

日時

2019年3月24日(日) 12:30~13:20

会場

D1会場(東京農業大学 世田谷キャンパス 1号館4F 431)

講演1

超臨界流体を用いて前処理操作や分離分析の課題を解決!

松本 恵子 (株式会社島津製作所)

超臨界流体クロマトグラフィーは、液体クロマトグラフィーとは異なる分離特性を有し、構造異性体や性質が類似した夾雑物質との分離など従来からの課題にソリューションを提供します。また、オンライン超臨界流体抽出/超臨界流体クロマトグラフによる前処理の簡略化についても合わせてご紹介いたします。

講演2

ここまでできる!バクテリアのMALDI-MSプロテオタイピング

寺本 華奈江 (株式会社島津製作所)

MALDI-MSを用いた微生物の属や種の同定は良く知られていますが、同種でも様々な特徴をもつバクテリアでは亜種や株レベルでの分析も重要視され始めています。アクネ菌のMALDI-MSプロテオタイピングなどを例に、Strain Solution™や去年9月にリリースしたばかりのeMSTAT Solution™など、マススペクトルを簡単に解析できるソフトウェアをご紹介します。

司会: 渡邊 淳 (株式会社島津製作所)

お問合せ

(株)島津製作所 分析計測事業部 グローバルマーケティング部
〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1 TEL:075-823-1352